

2017年3月24日（金）

日本藻類学会第41回大会高知大会懇親会挨拶

会長の奥田一雄です。今回は巡り合わせで大会会長も兼務しております。

このたびは日本藻類学会第41回大会高知大会にご参加いただき、まことにありがとうございます。四国で藻類学会が開催されるのは2回目ではありますが、前回第19回大会も高知で開催されました。本大会はそれ以来22年ぶりとなります。

2つの高知大会を比べてみますと、22年間で大会の規模が大きくなったことがわかります。例えば、研究発表数で見ると、前回は72演題であったのに対し、今回は156演題となり、実に2倍以上になっています。特にポスター発表の数が増加しました。当時は、ポスター発表と言わず、展示発表と言っておりました。

黒潮が流れるその太平洋の沖に向かって桂浜に立つ坂本龍馬像。本大会のロゴにもなっています。その坂本龍馬が原案をつくったという「大政奉還」を、時の将軍徳川慶喜公に建白・進言したのが、土佐藩主であった山内容堂でした。山内容堂は自ら鯨海酔侯と称しました。鯨海酔侯とは、クジラが海で泳ぐ如く酔っ払っている殿様という意味で、彼は名だたる大酒飲みでした。高知は陽気な酒飲みの県です。

どうぞ今宵は良いお酒と美味しい料理で、藻類学会会員同士の懇親を深めていただければ幸いに存じます。

以上